

役員先進地視察研修報告

平成31年3月5日と6日の2日間、藤井理事長以下役員9名で、公益社団法人伊賀市シルバー人材センターを訪問しました。

伊賀市は、平成16年11月に上野市を中核に伊賀の近隣6市町村が合併し、新しく誕生しました。東海地方三重県の西の端、京都府、滋賀県、奈良県に接したところに位置し面積558.2km²、世帯数39,951世帯、人口92,460人、高齢化率38.5%です。

(公社)伊賀市シルバー人材センターの事務局体制は、中居理事長のもと11名の職員で運営され、平成30年末の会員数は861名、入会率2.4%、契約金額5億8百38万8千円で、当センターと比べて非常に規模の大きいセンターです。

さて、今回の研修では、

①介護保険新総合事業への取組（福祉・家事援助サービス事業）

②空き家管理事業

③会員拡大（入会促進等）を重点的に研修し、その後、事業運営全般について活発な意見交換を行いました。翌日は、独自事業として運営している『憩のやかた』を見学しました。店内では、会員手作りの手芸品や工芸品をはじめ、自家製野菜などを販売するとともに『まちかど観光案内所』としても活動していました。

今回の研修は、当センター設立以来初めての取組でありましたが、学ぶ点は多く、一つからでも取り組めるよう努めたいと思います。



伊賀市シルバーワークプラザ前にて



研修風景



研修風景



憩のやかた